



新年の ごあいさつ



市長
森 貞述

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、さわやかな新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

さて、近年、「新しい公共空間」というフレーズのもと「住民との協働」や「地域とパートナーシップ」の重要性がいつぞう強調され、「地域における市民サービスを担うのは行政のみではない」「ことを前提に、市民、コミュニティ組織、NPOその他の民間セクターとの協働が注目されています。これまでも本市だけでなく多くの自治体において、コミュニティ組織との協働や民間企業などへの委託が行われてきましたが、これらは非権力的な内容に限定されてきました。

しかし、違法駐車を取り締まりや路上喫煙の防止のために民間の力をお借りしていることは皆さまもご承知のことであり、仮に公権力を伴うものであったとしても、効果が期待できるものであれば、思いきって民間の力をお借りする、そんな時代になってきたのではないかと感じています。

地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化の著しい進行のもとで大きく変化し、抱える問題も複雑・高度化・個別化しています。



市議会議長
森 英男

明けましておめでとうございませう。市民の皆さまにはご家族おそろいで、平成20年の輝かしい新春をお迎えのことから心からお慶び申し上げます。

昨年は、アメリカのアトランタで開催されましたロボカップ世界大会において、高浜市少年少女発明発見クラブの中学生チームが優勝という快挙を成し遂げました。これは、市民の皆さまの創造力、実行力が実を結んだものであり、今年もまた皆さまのご活躍が期待されることとございます。

さて、持続可能な自立した基礎自治体を目指す当市では、市民サービス向上施策の一環として、昨年6月から土曜日・日曜日にも市役所1階の窓口業務を行い、平日は休めないサラーマンの方などにも市役所での手続きをしていただけるよう、新たな改革が行われました。

市議会におきましても、平成17年12月から平成19年1月まで、15回にわたる議会改

このような状況下において、地域の課題を真に有効に、的確に解決へと導くためには、地域に関わる全ての力を結集し総力をあげて取り組まなければなりません。市民の皆さまが地域の課題や将来を主体的に考え、積極的に取り組まれることが、より満足度の高い、魅力あるまちづくり、防犯・防災および地域福祉を含めた安全・安心なまちづくりには必要不可欠なものであると私は考えています。

昨年は、吉浜小学校地区において「まちづくり協議会」が設立されました。すでに活動している「南部まちづくり協議会」と同様に、地域の皆さま方の主体的な取り組みにより、地域での問題、課題に対してさまざまな知恵を絞って事業を行い、成果を挙げています。

そして本年は、翼小学校地区においても「まちづくり協議会」が設置される運びとなり、「まちづくり協議会」が公の担い手として大きく育っており、私も行政といたしましても、大変喜ばしく思います。

「持続可能な自立した基礎自治体」として、市民の皆さまと行政が地域社会をともに担うという観点から協力のきずなが強められますとともに、地域の知恵を活用させていただくなど、「協働」の視点を重視したまちづくりに取り組んでまいります。どうか本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、市民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

軍会議を議員全員の参加により行い、議会活動の活性化や議員定数問題などについて検討を重ねました。

その結果、一般質問において一問一答方式を選択可能とし、傍聴者にもわかりやすくするなどの見直しを行い、また、インターネットで本会議と委員会の会議録が見られるよう、ホームページへの掲載を始めました。さらに、昨年の9月定例会では定数を2人減とする議案が可決され、次回の一般選挙から定数は16人になることとなりました。

このような中、昨年4月の改選により3人の新人議員を迎え、11月からまた新たな議会改革会議をスタートさせ、議会として、議員として、あるべき姿を目指し、さまざまな事項について検討を始めたところとございます。

新年を迎え、議員一同、この高浜市が将来にわたり活気に溢れ、明るく住み良い豊かなまちとするため、市民の代表としてさらに創意工夫を重ね、皆さまのご期待にこたえられるよう懸命に努力をいたして参りたく、決意を新たにしております。

どうか、市民の皆さまには、本年も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、平成20年が健康で良い年となりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。